

# Prime Collaboration 導入による CUCM/CUC/CUPS アップグレード

## 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[PCD バージョン 10.5 のアップグレード タスクのためのサポートされているリリース](#)

[設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

## 概要

このドキュメントでは、Prime Collaboration Deployment ( PCD ) を使用して Cisco Unified Communications Manager/Cisco Unity Connection/Cisco Unified Presence Server ( CUCM/CUC/CUPS ) をアップグレードする方法について説明します。

## 前提条件

### 要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- CUCM リリース 10.0
- PCD リリース 10.5

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな ( デフォルト ) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

# 背景説明

Cisco PCD は、Unified Communications アプリケーションの管理を支援するために設計されたアプリケーションです。以前のバージョンのクラスタ ソフトウェアから新しい仮想マシンへの移行、新規インストール、現行のクラスタでのアップグレードなどのタスクを実行できます。つまり、アップグレードと移行のタスクを自動化するアプリケーションです。

このドキュメントでは、PCD リリース 10.5 でのアップグレード タスクについて説明します。

## PCD バージョン 10.5 でのアップグレード タスクがサポートされるリリース

アップグレード タスク ( アプリケーション サーバのアップグレードまたは COP ファイルのインストール ) がサポートされるリリースは次のとおりです。

- サポートされる CM リリース : 8.6(1-2)、9.0.(1)、9.1(1)、9.1(2)、10.x
- サポートされる Cisco Unified Presence ( CUP ) リリース : 8.6(3)、8.6(4)、8.6(5)
- Cisco Unified CM : サポートされる IM and Presence リリース : 9.0(1)、9.1(1)、10.x
- サポートされる Cisco Unified Contact Center Express リリース : 9.0(2)、10.x
- サポートされる Cisco Unity Connection のリリース : 8.6(x) から 8.6(x)8.6(x) から 9.x9.x から 9.x10.0(1) から 10.x

## 設定

サーバを設定するには、次の手順を実行します。

1. クラスタ内のアプリケーション サーバをアップグレードするには、そのサーバ上で Platform Administrative Web Service ( リリース 9.x 以降 ) または Platform Simple Object Access Protocol ( SOAP ) Services ( リリース 8.6 ) が実行されている必要があります。
2. Linux シェルから、`sftp admin@<Cisco Prime Collaboration Deployment server>` と入力し、パスワードを指定します ( パスワードは CLI と GUI の両方で同じです )。
3. ディレクトリを `upgrade` ディレクトリに変更します。たとえば、Linux シェルから `cd upgrade` と入力し、**Return** キーを押します。
4. ISO ファイルまたは COP ファイルをアップロードします。たとえば、`put UCSInstall_UCOS_10.0.x.xxx.sgn.iso` と入力します。
5. PCD 管理ページにログインします。
6. Cisco PCD アプリケーションのメニューから、[Inventory] > [Clusters] を選択して [Clusters] ページにアクセスします。
7. 現在のクラスタを検出するために、[Clusters] ページの最上部にある [Discover Cluster] をクリックします。[Discover Cluster ( クラスタの検出 ) ] ウィザードが表示されます。
8. ウィザードの手順 1 で、必要な情報を入力し、[Next] をクリックします。注: クラスタに CUCM ノードと IM and Presence ( IM/P ) ノードの両方が含まれる場合は、CUCM パブリッシャを入力します。検出の過程で、COP ファイル ( `ciscocm.ucmap_platformconfig.cop` ) がクラスタ内のすべてのノードのアクティブなパーティションに自動的にインストールされます。この COP ファイルはクラスタ検出プロセスに対してのみ使用され、コール マネージャにその他の影響を及ぼしません。
9. ウィザードの手順 2 で、Cisco PCD は、パブリッシャのサーバ インベントリからクラスタ ノードのリストを生成します。この処理には数分かかります。リストが完全に生成された

- 時点で、「Cluster Discovery Process is complete.」メッセージが表示される。完了したら、[Next] をクリックしてウィザードの手順 3 に進みます。
10. オプションで各クラスター ノードに機能を割り当てるには、[Assign Functions] ボタンをクリックします。[機能の割り当て ( Assign Functions ) ] ダイアログボックスが表示されます。必要なすべての機能を割り当てたら、[OK] をクリックします。
  11. **[Finish] をクリックします。** [Clusters] ページにクラスターが表示され、クラスター名、製品およびバージョン、そして [Discovered] に設定されたクラスター タイプが表示されます。[Discovery Status] には、「Successful」とリストされているはずですが。
  12. メイン メニューから [Tasks] > [Upgrade] を選択します。
  13. [Add]、**[Upgrade Task]** の順にクリックします。[Add Upgrade Task ( アップグレード タスクの追加 ) ] ウィザードが表示されます。
  14. [Cluster] ドロップダウン リストからクラスターを選択し、[Product] ドロップダウン リストからノードをアップグレードする製品を選択します。 ノードのリストで、アップグレードに含める [Cluster Nodes] チェック ボックスをそれぞれオンにします。 [Next] をクリックします。
  15. [Browse] をクリックし、ファイル サーバからアップグレード ファイルを選択します。
  16. [Choose File] をクリックし、[Next] をクリックします。注: [Next] ボタンは、有効なアップグレード ファイルが選択されていないと無効になります。
  17. アップグレードをスケジュールするには、以下のオプションがあります。該当するオプションのラジオボタンをクリックします。この例では、[Start task manually] を選択しています。 [Next] をクリックします。注: [Automatically switch to new version after successful upgrade] オプションは、IM and Presence または Unity Connection ノードを含むクラスターでは利用できません。
  18. ( オプション ) タスクを完了するための一連の手順を指定します。これが指定されていない場合は、デフォルト オプションが使用されます。
  19. [Next] をクリックします。注: [Next ( 次へ ) ] ボタンは有効なままのため、ユーザはクリックして設定の誤りについて確認することができます。
  20. 作成したタスクの詳細を確認するには、[Review] セクションを使用します。必要に応じてタスクにメモを追加できます。メモはタスクと共に保存され、タスクが完了前に編集された場合は表示されます。 [Finish] をクリックすると、タスクがスケジュールされます。
  21. 手動開始でタスクを保持するには [Start task manually] を選択します。

## 確認

このセクションでは、設定が正常に機能していることを確認します。

1. [Monitoring] ページを表示するには、メイン メニューで [Monitoring] をクリックします。
2. [View Log] をクリックします。[View Task Log] が表示されます。

## トラブルシューティング

このセクションでは、設定のトラブルシューティングに役立つ情報を提供します。

アップグレード タスクの各手順の成功または失敗は、PCD サーバがアップグレード プロセスでクラスター内のすべてのサーバから応答を受信できるかどうかによって決まります。アップグレードが失敗した場合は、Unified Communications ノードで直接 COP ファイルのインストール状態を確認します。その後のステップは、インストール ログとアップグレード ログを収集して、失

敗の原因を確認することです。

インストール ログは、CLI から `file get install /?` コマンドを使用して収集することもできます。

また、PCD のメイン アプリケーション ログは、`file get activelog tomcat/logs/ucmap/log4j/?` コマンドを使用して取得できます。